

<http://npo-icas.com/>

★★

巻頭言 深月ユリア（フリージャーナリスト）

真逆な性格の石破総理とトランプ氏、石破総理は「天命」を果たせるのか

★★

【石破政権の強さ「総理は天命」】

11月11日に行われた首相指名選挙で第103台内閣総理大臣に指名された石破茂首相。

大苦戦となった原因は先の総選挙にある。自民・公明両党が獲得した議席は215席。15年ぶりに目標としていた過半数の233席を割った。

大物の落選も目立った。牧原秀樹法務大臣（53）、小里泰弘農林水産大臣

（66）ら閣僚のほか、総裁選で石破茂首相を支援していた元防衛庁長官の衛藤征士郎氏（83）も落選するなど、石破首相には大きな痛手となった。

自民党から流れた保守層は国民民主党、日本保守党などに投票したとみられ、今回、日本保守党が初の議席を獲得した。

「自民党の惨敗」ともいえる選挙結果は自民党内で石破首相に対する批判を招いた。「首相辞任になるのでは」と複数のメディアが報じる中でも、石破首相は踏ん張ることが出来た。

そして、11月11日月曜、首相指名選挙後に行われた記者会見において、記者団の質問に対し、少数与党となった結果について、石破首相は「ある意味で、このような状況というのは、民主主義にとって望ましいことかもしれません」

「与党が過半数を割ったことは望ましいと申し上げているのではなくて、より議論が精緻になるけどだと思っております」と回答した。

つまり、民主国家の基本構造として一党独裁ではなく、多様な議論が行われることだ。しかし、与党が過半数の議席を取得すると、与党単独で審議を打ち切り採決ができる「強行採決（与党単独採決）」が出来る。

「安倍一強」だった第一次安倍政見・第二次安倍政見あわせて50回ほど行われた。

「悪夢の民主党政見」といわれる民主党時代にも、6年4カ月の間に強行採決は27回も行われた。

強行採決は迅速な政策決定が出来るが、「数の横暴」だと批判されている。権力による自身の保身を優先する議員からすれば、石破総理の主張は無意味な戯れ言でしかないだろうが、誰に何を言われようが、民主主義の理念を重んじる石破首相の姿勢は類いまれなる強さを感じる。

石破首相は総裁選以前に出版した「保守政治家 わが政策、わが天命」(講談社)で「もし私が首相になることがあるなら、自民党や日本が大きく行き詰まったときではないか。天命が降りない限りあり得ないだろう」という思いを記している。

天命とは、神から与えられた宿命で、石破首相はキリスト教・プロテスタントの信者である。

何も信じる宗教や哲学・倫理観がなく、現実的な金銭や利権に執着する政治家に比べ、「人類は努力して善行を積まなければならない」「この世でどんなに苦勞しても、善行を行えば天国に行ける」と考える傾向があるのかもしれない。

【トランプ大統領再選の背景と激動する世界情勢】

米国では激しい選挙選を経て、ドナルド・トランプ氏が時期大統領に選出された。直前まではカマラ・ハリス氏と接戦だと報じられていたが、226票獲得したハリス氏に対して、トランプ氏は312票も獲得したので「圧倒的勝利」だといえよう。トランプ氏が勝利した理由について、現地取材した記者によると、「バイデン氏が撤退しハリス氏が出馬するのが遅すぎた。民主党内で予備選などを行い、政策の議論を深め、経済政策などをもっと固めるべきだった」という。「ハリス氏はバイデン政権のすげ替えで、ハリス大統領になっても何も変わらないだろう」という主張も目立ったようだ。

バイデン政権時代に、ウクライナ、ガザ両地域で戦争が勃発し、未だに収束の目処がたたない。

バイデン政権の経済政策に対する不満も膨れ上がっている。

アメリカの経済状況は日本や他の先進国と比べて相対的には良好だが、11月始め発表に出された雇用統計では新規雇用が僅か12000人と低調で(良好な時は20万人ほど)で、所得の格差も広がっている。そんな経済不安が、不法移民に対する排他的な感情を助長している。

2025年1月20日に新大統領の就任式が行われるが、このまま何事もなく、トランプ氏が大統領に就任すれば、世界は大きく変わり、日本は苦勞することだろう。ウクライナ人の国際政治学者、アンドリー・グレンコ氏によると、「これからの4年間はアメリカは国際舞台から消え、孤立主義に陥ります。トランプは国際問題に関心がないので、ロシア、中国、北朝鮮の拡張主義を抑止しな

くなるでしょう。しかも、トランプは周囲の意見に耳を傾けず、独断ですべてを決めます。

日本はアメリカ抜きでの安全保障政策を考えなければならなくなるでしょう」という。

【トランプと石破首相の相性】

「石破首相はトランプ大統領と上手くやっけていけるのか」と不安を煽る記事が複数のメディアによって報じられている。

というのも、石破首相が初めてトランプ氏に祝辞を述べる為に電話した際、会話はたった5分で終わった。その時、トランプ氏は大統領勝利の祝賀会の最中だった為、石破首相は気を遣ったのだという。

これから長く外交を行う中で何分電話した、それほど重要ではないかもしれないが、実際に両者の性格は真逆である。

石破首相は生真面目で論理的、マイペースだが独断の判断は好まず議論を心掛け、何事も慎重で丁寧に準備して、芯を通そうとそう。

一方、トランプ氏は派手で目立ちたがりや、面倒な議論を好まないワンマンタイプで、劇場型政治を好みパフォーマンスにたけていて、政策に芯がなく選挙に勝つためのその都度世論に合わせている。

「両者の共通点がキリスト教・プロテスタントの信者であるから意外と合うのでは」という意見もあるが、トランプ氏はそれほど敬虔なクリスチャンではない。

むしろ、トランプ氏を救世主と崇める団体、「Qアノン」があるが、トランプ氏自身もひょっとしたら、「神に従う」のではなく「自身が神のような絶対的存在になりたい」と考えているのかもしれない。

トランプ氏の政策にしても、キリスト教よりユダヤシオニズムに忖度している。米国の大富豪の約30%・上院議員の約10%がユダヤ人であることから、トランプ氏以外の米国大統領たちもある程度は親ユダヤの政策をとっていたが、トランプ大統領は極端だ。大統領在任中にテルアビブにあった米国大使館をイスラム教の聖地でもあるエルサレムに移転したり、今回の大統領選中の演説で「再選されたら、ユダヤ人嫌いを排除する」という発言もした。

一方、神の元での人類平等・博愛がプロテスタントの理念だが、石破首相は議員時代に「イスラエルがガザでやっていることは国際法違反である」可能性が高く、イスラエルによって侵食されてきたガザの領土問題について「オスロ合意に立ち返るべき」と主張した。

つまり、対イスラエル・ガザの問題の考えについても、石破首相・トランプ氏

には大きな隔りがある。

しかし、だからといって、両者の関係が悪くなると決まった訳ではない。

5度目の挑戦でようやく手に入れた総理の座にかけてきた執念、苦労を神から与えられし宿命だととらえる石破首相の強さ、そして興味を持った物事を徹底的に調べるオタク気質の石破首相は、トランプ氏のことにも徹底的に調べるに違いない。11日の記者会見では石破首相は「トランプ氏の発言を詳細に分析する」と表明した。

石破首相は良好な日米関係を築き上げ、時間がかかってでも日米地位協定をより対等なものに改定出来るのか。

★★

勝池レポート アジア資産運用アドバイザー 勝池和夫

「インド経済—より速く、より高く、より強く」

★★

インドはこの程、2036年の夏季五輪の開催地として正式に立候補しました。開催都市はモディ首相の出身地である西部グジャラート州のアーメダバードが有力視されています。開催されれば、インドでは初めての五輪となります。

オリンピックと言えば、そのモットーである「より速く、より高く、より強く」が有名ですが、インド経済では、その卓越性を求めた励みが既に力強く始まっているようです。以下にその例として、インドを代表する商業都市であるマハラシュトラ州ムンバイでの主な交通インフラの整備状況をご紹介します。

<より速く>

- * ムンバイ湾横断道路（2024年1月開業）ムンバイから西海岸の衛星都市ナビムンバイまで、今までの車で1～2時間が20分程度に。
- * ムンバイメトロ（地下鉄）3号線（2025年3月までに全線開通する計画）国際空港からビジネス街まで、今までの車で1時間以上が10分程度に。
- * ムンバイ環状道路（2029年までに完成目標）ムンバイの街の端から端まで移動時間を1時間以内に短縮。
- * ムンバイ-ナグプール高速道路（2025年開業目標）全長701キロ、両都市間の移動が現在の18時間から8時間に。貿易、商業、観光業など活性化。
- * ムンバイ-アーメダバード高速鉄道（2030開業？）鉄道の最高速度が現在の150キロから320キロへ。両都市間が7～8時間から2時間7分に。

<より高く>

- * 高層ビルの建設（高さ 150 メートル超の高層ビルが 100 棟を超える）容積率の緩和により今までのスラム街が高層ビル街に変身中。

<より強く>

- * ナビムンバイ国際空港（2025 年開港予定）利用客数は最終的に 9 千万人が予想されインド最大。観光業の発展が期待される。
- * バندان港（2030 年開港予定）インド最大のコンテナ港。取扱量は 2040 年までに世界のトップ 10 入りを目指す。インドの貿易の中心に。

この様にインド経済を支えるインフラは目を見張るほど整備されつつあります。まるで、戦後の日本経済を大きな発展に導いた、東名高速道路、東海道新幹線、東京国際空港や巨大なコンテナ港などのインフラが、これから 10 年以内にムンバイでも次々に開業するイメージです。そのインパクトが、不動産業、小売業、観光業、そして脆弱だった製造業でも期待できそうです。懸念材料が重なり目先調整中のインドの株式市場にも、インフラ整備の進展を受けて徐々に明るい展望が開けてくるでしょう。

<より速く>



ムンバイーナグプール高速道路

<より高く>



スラムの再開発

<より強く>



ナビムンバイ国際空港（完成予想）

★★

ムッシュ望月の 12 月の相場展望
 上値が重くなる展開には入るか

★★

東京市場では衆院選で自公が過半数を取ることが出来ず、その結果とし衆議院議員委員会のポストの多くを失った。また国民民主党が予想以上の伸びを見せ、同党が主張する「103 万円の壁」が注目されている。この政策が導入されることで、働く人の手取が継続的に増え、結果として消費が伸び、国内経済に与える影

響は大きく、改革日本を象徴する案件となる。この効果で、石破政権の支持率上昇することは、新しい部分連合に対する期待にも繋がり、自公の過半数割れの状態の不安は解消されることになろう。「掉尾の一振」になるためには、来年度予算と「103万円の壁」の壁にある。東京市場は期待と失望の狭間で一喜一憂することから、当面は上値が重い展開となる。12月に日銀金融政策決定会合で0.25%引き上げに踏み切るかも読みづらい状態にある。これ以上の円安・ドル高も政府も容認出来ないところである。

米国は、トランプ大統領の完全勝利、更には上院・下院とも共和党が抑「トリプルレッド」となり、政策が通りやすい環境が出来た。トランプ政権に対する期待も強く、米国市場はご祝儀相場以上の強さを見せている。ドル円についてもドル高進み156円台までドル高が進んでいる。これからは、12月のFRBの金融政策に向けて市場は変動しやすい状態にある。米国が金利を下げるのか、日本が引き上げるのか、予想は綱引き状態である。日本については円安を阻止する為には、金利日引き下げを迫られることになる。

日本の上場企業の決算発表を見る限り、大きな変化はなさそうに見えるがソフトバンクの好業績に寄るところが大きく、業績相場に移行出来るところにはない。今後は、政策による期待感で動く相場展開になる。「噂で買って事実で売る」のが相場の定石である。

米国では財務大臣、FRB議長の動向が心配されが、FRB議長は2026年の任期満了までは続ける旨を公表している。ただトランプ大統領の政策では、インフレの懸念があり、FRBパウエル議長は、今まで以上に慎重に判断をする必要が出てきている。

東京市場は、テクニカル的には非常に難しい位置にある。38000円を割込むことになると、トリプルトップを形成することになり、調整が長引くことになる。

13週線、26週線近辺での攻防も同じ不安を感じさせるものがある。決算発表が済み、個別銘柄の決算に特化した動きから、テーマ買いに動き出しており、投資家にとっては逆に対応し安くなるかと思われる。

今回は12月決算銘柄を取り上げる。ADワークスG (2982)は株価が200円では4.6%程度の利回りがあり、増収増益でもあることから増配の期待も出来る。ト半導体製造装置ライン向け乃需要が旺盛なダイフク (6383)で好業績だけに増派が期待出来る。工作機械の受注が好調なDMG森精機 (6141)も12月決算で増配の期待がある。

純記。

★★

24年12月以降のिकास倶楽部スケジュール

★★

- 12月04日(水)：15：00～花咲投資クラブ (A)
- 12月05日(木)：13：30～御苑貴族投資クラブ (A)
- 12月17日(火)：15：00～「株のお姉さん雨宮京子」株式投資塾 (B)
- 12月17日(火)：18：30～ムッシュのサロン・ド・株式 (B)
- 12月21日(土)：15：00～スペリオール投資クラブ (B)
- 12月26日(木)：15：00～東京3Eクラブ (A)
- 01月08日(水)：15：00～花咲投資クラブ (A)
- 01月09日(木)：13：30～御苑貴族投資クラブ (A)
- 01月14日(火)：15：00～「株のお姉さん雨宮京子」株式投資塾 (B)
- 01月18日(土)：15：00～スペリオール投資クラブ (A)
- 01月21日(火)：18：30～ムッシュのサロン・ド・株式 (B)
- 01月30日(木)：15：00～東京3Eクラブ (A)

★イカスの参加費は2025年から3000円→3500円

投資クラブは2025年より年42000円となります。

会場は新宿御苑前中交公ビル604又はニュー新橋ビル3F昭和カフェ

第30回カラオケ会：24年12月20日(金)：18：00～21：00

参加費は7500円、ノンアルコール7000円、倶楽部エル

2025年1月25日(土)9時45分「三宅あみの大江戸散歩」日本橋七福神

10月01日(火)から投資クラブの会場・事務所は変わりました。

事務所：中央区日本橋室町1-2-6日本橋大栄ビル7階★★★

投資クラブ会場(A)新宿御苑前中交公ビル604(B)ニュー新橋ビル3F昭和ブックカフェ、メルマガの申し込みは、

info@npo-icas.com <http://www.npo-icas.com>

第43回：िकास冬の交流会：2024年12月5日(木)午後6時～午後9時

外国特派員協会

第一部

講師：澁澤久栄 澁澤栄一氏に学べ

「澁澤栄一が未来を先取りした信念と覚悟」

第二部

歌：濱田レイ(シャンソン歌手)：シャンソンコンクール優勝

参加費：13000円、事前振り込み：12000円、60人程度

会費振込先：三菱 UFJ 銀行、新宿中央支店、普通：5313550

2024 年 12 月 16 日：18：30～ 福原健一（元 NHK アナ）が語る「ドジャーズと日本の絆」

六本木ヒルズ 51 階、参加費 5000 円

2025 年 1 月 25 日（土）9 時 45 分「三宅あみの大江戸散歩」日本橋七福神

参加費 3000 円＋昼食代（実費）

新事務所：中央区日本橋室町 1-2-6 日本橋大栄ビル 7 階★★★

info@npo-icas.com <http://www.npo-icas.com>